



# Rural Relocation Vol.39

「ふるさとに逢える『楽園信州』…心が澄む・信州に住む」のキャッチで県内への移住交流をサポートしている長野県。都内に移住・交流センターを開設。移住の流れは長野にあり！

**移住一番人気の長野県。**

**その理由は、都心から近い。**

**自然環境がいい。そして・・・**

NPO法人「ふるさと回帰支援センター」が実施したアンケート調査で、長野県が2011年に続き2012年も移住したい都道府県ナンバーワンになった。『首都圏に近い』『自然環境がすばらしい』といったことが理由のようだが、行政のサポートが行き届いていることもその理由の一つではないかと思える。実際、私自身も移住された方に、数ある候補地の中から「なぜ長野県だったのですか?」「なぜ原村だったのですか?」と聞いたときに返ってくる言葉の中に「役場の方の対応が良かったから」と耳にしたことは少なくない。今の移住者にとって大切なのは『立地の良さ』『景観の良さ』『インフラの良さ』そして『人の良さ』である。

都内、JR有楽町駅の真正面。交通会館の2階に県東観光情報センターがある。もともと名前の通り観光案内の場であるが、昨年の5月から移住希望者向けの専用窓口が設けられた『長野県移住・交流センター』。2名の県職員が専門で常駐し、移住やインターンを考えている方たちに求人情報の紹介や、移住に関するさまざまな相談に対応している。取材に行ったこの日、土曜日だからなのかオーブンの10時から訪れる人がいて少し驚いた。熱心に職員の説明に耳を傾けていた

姿を見てうれしくなった。その昔、上京し学生生活を送っていた頃、出身トークで「信州って田舎だね」と言われ少し卑屈になっていた自分が嘘のように思える。今は田舎という言葉はブランド品みたいだ。よかった、信州に生まれた田舎者で♪

さて、この移住・交流センターについての詳細。東京交通会館2階、なぜか宝塚シヨップの隣にある。入り口には季節にあった美しい景観の写真が飾られている。中に入ると観光パンフレットが地域ごとに並べられている。そして長野県は都内にアンテナシヨップがないため、いくつかの土産物も並べられ購入できるようにしている。そして左奥が移住・交流相談窓口。1月からは、県内のハローワークの情報が見られるようになっていて、就業から…という方たちの大きな力になっている。もちろん生活環境や住宅の相談も専門スタッフが応じてくれる。どちらもとびきりの笑顔で。人が人を呼び人が信州をつくる…そのはじめのひと滴がこの笑顔なんだと思う。日本の屋根、アルプスから流れ出すひと滴が大海へ流れる源流となり下流に行くほど川幅を増すように、信州人気は都会にいくほど強くなっていくように思える。



**移住交流センター開設日**  
月曜日～土曜日 10:00～18:00  
日曜・祝日は休み 事前に要予約

